

CO₂排出量簡易算出サービス

決算書の数値だけで、概算で貴社のCO₂排出量を“見える化”します。
お手続きは、りそな銀行の担当者にお申し付けいただくだけ。専門知識も、追加の集計作業も必要ありません。

本サービスの3つの特長



費用は無料

お取引店の担当者が算出し、
レポートでご報告します



決算書だけでOK

水道光熱費・燃料費などの
数値から概算を算出します



Scope1・2を把握

Scope3（カテゴリ1）の
概算算出にも対応可能です

ご提供までの流れ

STEP 1

決算書のご提出

お取引のある店へ

STEP 2

弊社にて算出

担当者が入力・精査

STEP 3

結果のご報告

レポートを手交

STEP 4

次の一手をご提案

削減・オフセット

なぜ今、「見える化」なのか

- 国は2050年カーボンニュートラル、2030年度に温室効果ガス46%削減（2013年度比）を掲げています。
- 大企業ではサプライチェーン全体（Scope3）の排出量把握が進み、取引先へのデータ提供要請が広がっています。
- SSBJ基準により、2027年3月期以降、東証プライム上場企業を対象にScope3を含む開示が段階的に義務化される見込みです。
- まずは概算でも、自社の排出量を知ることが、削減目標の設定や取引先への説明の第一歩になります。

算出後は、りそなグループが次の一手まで一緒します



カーボンオフセット サポート融資

排出量の詳細算定・オフセット・開示支援を、ご融資とセットで一気通貫でご提供します



ESG目標設定 特約付融資

ESG関連の目標を設定し、達成状況に応じて金利が変動します。



りそな総研の コンサルティング

精緻な排出量算定や、TCFD・CDP等の開示対応を支援します。

⚠️ ご利用にあたっての留意事項

本サービスで算出する数値は、一部の財務数値等をもとにした概算値です。国際的な基準（GHGプロトコル）に準拠した算定ではないため、サプライチェーン上の報告など外部への報告にはご利用いただけません。当行およびりそな総合研究所株式会社は、算出データの正確性等を保証するものではありません。